

1 背景・ねらい

シロエビは富山湾だけで専門的に漁業が行われている貴重な水産資源であるが、資源管理技術という点からみると、その基本的な情報である生態に関する知見が少ない。シロエビの生態を明らかにする研究調査のひとつである食性調査に関して若干の知見を得ることができたので報告する。

2 成果の概要

(1) シロエビは、甲殻類を捕食している個体が多かった。その中でもアミ類やオキアミ類の割合が高かった。

(2) アミ類は、体長65-75mmのシロエビでその捕食頻度が高かった。漁獲サイズのシロエビにとって、アミ類、は重要な餌生物の一つと考えられる。

(3) アミ類、オキアミ類以外にシロエビが捕食していた生物は、コペポーダ(カイアシ類)、クラゲノミ類、シロエビ、魚類、イカ類であった。

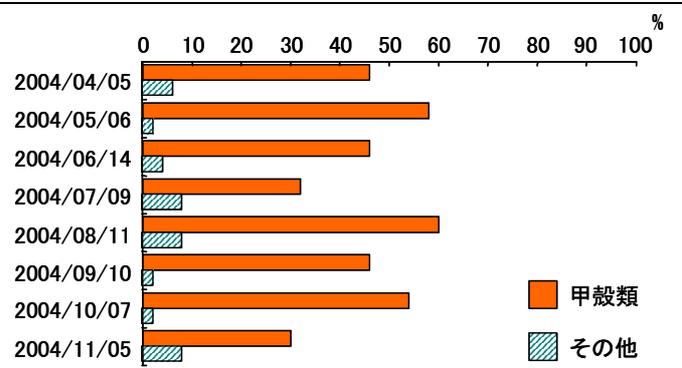


図 餌生物別出現頻度(胃中から出現した生物)

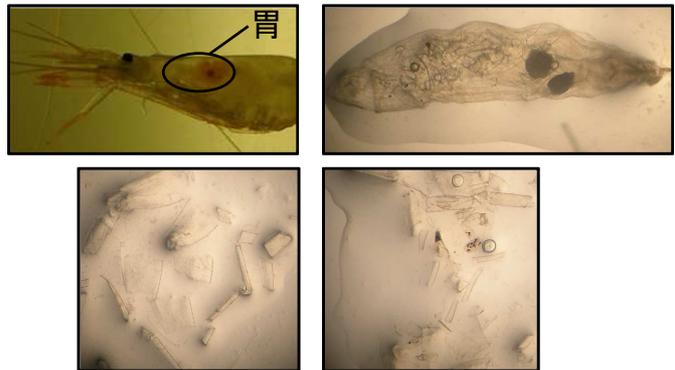


図 シロエビの胃(上)および胃内容物(下)

3 成果の活用面・留意点

得られた知見は、今後シロエビの資源管理を行う際の基礎的な情報として活用する。

4 問い合わせ先

富山県水産試験場 漁業資源課  
TEL 076-475-0036

担当：研究員 南條 暢聡

(参考) 具体的データ

